

■文学研究科の入学者受入れの方針 (Admission Policy ; A P)

成蹊大学大学院文学研究科の「基本理念」「教育目標 (人材育成方針)」、教育理念、DP、CP を踏まえ、以下のように入学者受け入れ方針を定める。

<教育理念>

文学研究科には、英米文学専攻・日本文学専攻・社会文化論専攻の3専攻があります。各専攻の博士前期課程には、創造性豊かな優れた研究活動を行っていくために必要とする基礎的な知識の修得と研究能力の養成及び分野を横断した幅広い視野の涵養を目的とする「研究コース」、広い専門的知識を備えた高度な専門職業人及び広く高度な知的素養を備えた人材の養成を目的とする「総合コース」があります。また、長期履修制度により、広く市民や社会人にも門戸を開放しています。

英米文学専攻にはこの2コースのほかに、英語教育に関する高度な理論と方法、ならびに授業実践に結びつく専門的知識を有する優れた英語教員の養成を目的とした「英語教育コース」を置いています。各専攻とも、「研究コース」では修士論文、「総合コース」と「英語教育コース」では特定の課題についての研究の成果の提出が求められています。

<文学研究科>

(A P 1) 【求める学生像】 <博士前期・後期課程共通>

<英米文学専攻>

学部で培った専門的な知識と英語力に基づき、各自が選んだ分野における研究の方法と知識を身につけ、研究テーマを追究します。英米文学・英語学・英語教育の学問的な研究に対する意欲と能力のある人を求めています。

<日本文学専攻>

柔軟な思考力と高度な日本語表現力を兼ね備え、日本語学・日本文学の分野で学問的探究を行うことに対して強い意欲と優れた資質を持った人材を求めています。

<社会文化論専攻>

歴史学・文化人類学・国際関係研究・社会学・メディア研究のいずれかの分野において、自ら課題を発見し学問的探究を行うことへの強い意欲と豊かな資質を持つ人を求めています。

(A P 2) 【入学者の選考方針】 <博士前期・後期課程、各専攻共通>

人文研究の分野における先進的な研究者及び高度な専門的職業人となりうる人材を受け入れるため、入学者の選抜を実施します。入学者の選考に当たっては、本研究科の「求める学生像」を考慮しつつ、公平かつ適正に選考が行われるよう細心の注意を払います。

(A P 3) 【身に付けておくべき教科・科目等】

【博士前期課程】

<英米文学専攻>

研究コースは、専門的な研究者になることを目指し、博士前期課程修了後、さらに研究を深めるため博士後期課程へ進学する可能性を考えている人を対象とします。イギリス文学・アメリカ文学・英語学・英語教育の4つの分野があり、各分野とも、志願者はそれぞれの専門に関する十分な基礎知識を

持ったうえで、自ら研究テーマを開拓し発展させることができる知的な能力と高い英語力を兼ね備えていることが必要となります。総合コースは、必ずしも専門的な研究者になることを目指すわけではありませんが、学部で学んだ各分野の知識と英語力をのばしながら、幅広く総合的に発展させたい人を対象としています。そのためには、英米文学・英語学・英語教育に関して十分な基礎知識と、自分の学究的な考えを英語で表現できる能力を兼ね備えていることが求められます。英語教育コースは、現職の英語教員、教員免許状取得済みあるいはこれから取得予定の人、またその他の英語教員を目指す人を対象としています。教育研究の最新の動向に触れて、理論と方法を学び、実践的教育活動につなげていきますので、理論と実践について総合的な関心を強く持っていることが肝要です。また、広くイギリス文学・アメリカ文学・英語学の基礎知識を修得して英語教育に生かすよう柔軟な応用力を備えていることも求められます。

<日本文学専攻>

研究コースは、専門的な研究者になることを目指し、博士前期課程修了後、さらに研究を深めるため博士後期課程へ進学する可能性を考えている人を対象としています。研究を遂行するに足る日本語学・日本文学の基礎知識が十全であり、学術的な表現のできる高度な日本語力を有し、またその研究計画が十分な意義を持ち、かつ実現可能性の高いものであることが、入学に際しては求められます。総合コースは、学部で学んだことをさらに発展させるとともに、専門分野についてより広く深く総合的に学びたい人を対象としています。具体的には、中学・高校の国語の教員や出版関係への就職を目指す人、現職の教員で教科の専門的な力をよりレベルアップしたい人、また日本語・日本文学に強い関心を持つ社会人で研究的なものへの入門を志す人などを想定しています。大学院での学修に必要な日本語学・日本文学の基礎知識を身につけていること、学術的な表現のできる高度な日本語力を有していることが入学に際しては求められます。

<社会文化論専攻>

歴史学・文化人類学・国際関係研究・社会学・メディア研究のいずれかの専門分野に関する十全な基礎知識を身につけておくことが必要です。研究計画を立案・実行する能力が求められます。専門分野や研究テーマによっては研究遂行上必要な外国語能力を身につけておくことが望まれます。

研究コースは、専門分野で活躍する研究者を養成することを目指し、博士前期課程修了後、さらに研究を深めるため博士後期課程へ進学する可能性を考えている人を対象としています。総合コースは、必ずしも専門的な研究者になることを目指すわけではなく、専門的知識を生かした仕事をしている人や、社会で実践的活動を行ってきている人が専門的知識を修得し、さらにレベルアップしていくためのものです。教員の専修免許取得を目指す人も対象となります。

【博士後期課程】

<英米文学専攻>

各自の選んだ専門分野において本格的な研究者として研究を続け、博士論文を完成させることを目指します。そのために必要な高度な専門的知識、研究遂行能力、英語による論文作成能力を持っていることが必要になります。

<日本文学専攻>

博士論文執筆に向け、専門的な研究者として自立的に研究を遂行できる人を対象としています。専

門分野において最先端の知識を有すること、今後、独自の領域を開拓できる研究者としての資質を満たしていることが入学に際しては求められます。

<社会文化論専攻>

専門的知識を有し、それを基盤に独創的な研究を展開する力が望まれます。また、研究を遂行するための外国語能力が必要です。博士論文を執筆するための、情報収集能力、分析力、論理的思考力、文章表現力を持ち、自立的に新たな研究を開拓していく強い意志と探究力が求められます。